

手作り「みょうが餅」のホクホクを食してご満悦の年長児12人

6月25日(火)、今年も「更生保護女性の会」のご協力を得て「みょうが餅作り」を実施することができました。みょうがの葉とあんこ皮の部分は、女性の会の5人が下準備をしてもってきていただきました。子どもたちは女性の会の方に見守られながら、あんこを適量とって、皮を伸ばして、皮で巻いてみょうがの葉を巻く作業を楽しみ



ました。10分ほど蒸したら完成。女性の会の5人と一緒に机を囲んで、みんなで一斉にほお張りしました。「なんかいい匂い!」「いける!」「おいしー!」などの声が聞こえました。5人の方は、自分が食べることも忘れるくらい、おいしそうにほお張る子どもたちの顔を見つめて優しい笑みを浮かべてみえました。ほのぼのとした温かかない時間になりました。ありがとうございました。



鮎とかき氷と、こどもの笑顔に心も満腹

7月7日(日)、下牧公民館主催事業「さかのつかみ取り大会」に、園児も多くが参加し、鮎つかみはもちろん、鮎の焼き立てとかき氷の食べ放題を満喫できた半日でした。Aくんは、去年は見ているだけでしたが、今年は鮎が群れるプールに入ることができました。お姉さんのBさんは、去年はつかめなかった鮎をつかみ家族の待つバケツに一匹入れることができました。



前日の晩、お風呂で角に追い込んでつかむ練習までしたそうだから、Bさん本人はもちろん家族の喜びも格別だったことでしょう。弟のAくんも、来年は自分の手で鮎をつかむことができるんじゃないでしょうか。鮎つかみ一つにも、園児たちの年々の成長や変化が見られて、一度参加したら親子そろって次の成長が楽しみになる世界です。

この事業を、暑さと割かれる時間も顧みずに協力してくださる漁業組合のみなさんも「子どもの笑顔がうれしいから」と顔じゅうに汗を浮かべながら鮎を焼き、かき氷をかいてくださっていました。



「更生保護女性の会」読み聞かせ

今回は「なかよし組（3・4歳児）」でした。3冊目には「楽な姿勢でいいよ。」の言葉に、子どもたちがうつ伏せになって這い始めたのです。本は「はらぺこあおむし」だったのですが、「あおむしになったんだね。」と言っていたら、子どもたちも元気がでたのか最後まであおむしのままニコニコ顔でした。



秋篠宮妃紀子さま、ようこそわたしたちの美濃市へ



猛烈な太陽の日差しを避けて待つ園児



岐阜県警からの注意事項を聞く園児

下牧こども園の年長12人は、紀子さまの「うだつのあがる町並み」訪問をお迎えするという、貴重な体験をしてきました。園児たちが旗をふって「こんにちは。」と声をかけると、優しい笑みをたずさえながら近づいて声をかけてくださいました。「どこからきたんですか。」のお言葉に、私も思わぬ状況にたじろぎながら「近くのこども園です。」と答えるのが精一杯でした。

〈お知らせ〉 8月の未就園の会（たんぽぽクラブ）について

☆8月8日（木）「水あそびをしよう」

7月（雨天）できなかつた分まで、今度こそ夏の水しぶきと戯れる子どもを見てお話ししたいですね

7月11日（雨天）は、急きょ変更して「あわあそび」をして楽しみました。思わぬあわの変化と意外性・可能性に、子どもを囲む大人まで大はしゃぎでした。

